

さとう しょうご

佐藤 正午

* 昭和30年8月25日 佐世保市生まれ



写真提供:佐世保市立図書館

○ 略歴

大学時代から小説を書き始める

昭和58年 「永遠の1/2」で作家デビュー
(28歳) 第7回すばる文学賞を受賞 昭和62年映画化

昭和63年 「リボルバー」が映画化される
(33歳)

平成元年 「個人教授」が山本周五郎賞の候補になる
(34歳)

平成12年 「ジャンプ」が「本の雑誌」2000年度ベスト1に選ばれる
(45歳) 平成14年映画化

平成22年 「身の上話」が第63回日本推理作家協会賞・長編及び連作短編集
(55歳) 部門の候補になる

平成25年 「身の上話」を原作とした「書店員ミチルの身の上話」がドラマ化
(58歳) される

平成29年 「月の満ち欠け」で第157回直木賞受賞
(62歳)

○ 主な受賞歴

昭和58年	第7回すばる文学賞	「永遠の1/2」
平成27年	第6回山田風太郎賞	「鳩の撃退法」
平成29年	第157回直木賞	「月の満ち欠け」

○ その他の代表作

ビコース(昭61)、童貞物語(昭62)、放蕩記(平3)

バニシングポイント(平9)、Y(平10)、カップルズ(平11)

きみは誤解している(平12)、ありのすさび(平13)、side B(平14)

5(平19)、アンダーレポート(平19)、正午派(平21)、鳩の撃退法(平27)